

企業部門 会長賞

株式会社奄美大島開運酒造

宇検村

団体の紹介・活動の目的

奄美群島にある黒糖焼酎の蔵は25。その最後発・最小の蔵として1996年に創業し、翌年には宇検村に工場を建設。“奄美群島の霊峰”と呼ばれる湯湾岳の水を使用した酒造りをはじめました。現在は「れんと」をはじめとした黒糖焼酎の販売で日本国内はもちろんのこと、アメリカ・韓国をはじめとした海外へも販路を拡大しています。

宇検村で育った創業者は“生まれ育った故郷である宇検村に何か貢献したい”という思いを持っていました。先代の思いを受け継ぎ現在は“宇検村の子供たちが夢を抱きチャレンジする人財になってほしい”，“コロナ禍で少なくなった地域の人との関わりを積極的にもってほしい”という願いを込めて教育支援や地域コミュニティづくりに取り組んでいます。

連携・協力している団体など

小中学校、消防、警察、集落会、地元企業、宇検村 など

活動の内容

地元の小学校へ毎年寄付をし、図書購入や課外活動等への支援を20年以上行ってきました。近年では他企業とも連携し、地元の小学校へ入学する新一年生全員へギフト券を贈呈し、学用品購入の支援を行っています。

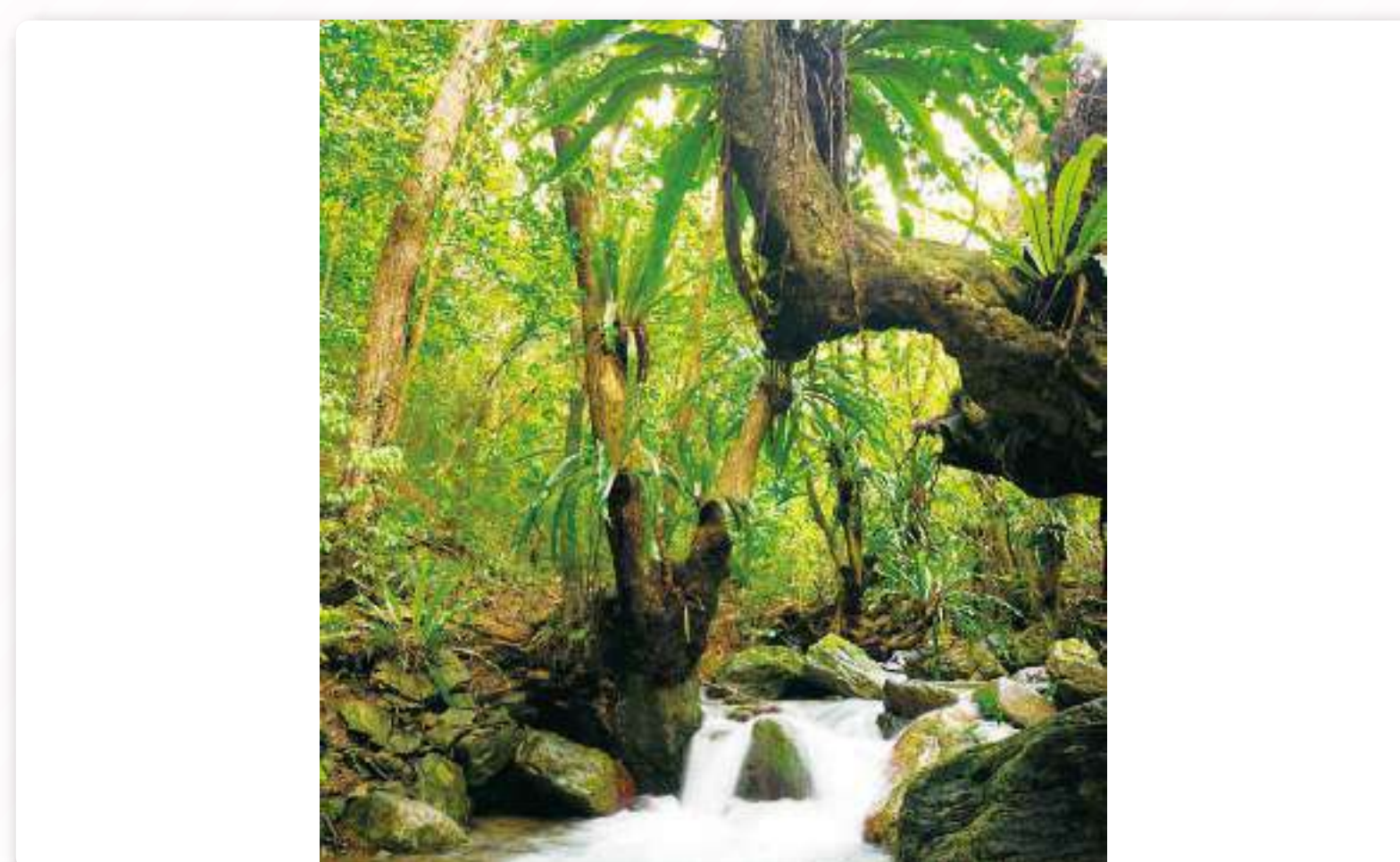
また、台風や大雨の後には観光施設や集落の清掃を社員と地域住民が連携して行い、子供から高齢者まで安心して暮らすことができる地域づくりに取り組んでいます。

さらに酒造業を通じ工場見学での観光客の呼び込み、移住者を社員として採用することで新たな雇用やコミュニティの場、交流の場が生まれ、地域の活性化に貢献しています。



奄美群島だけでしか製造ができない黒糖焼酎

「AMAMI RABBIT」売上の一部を自然環境保護活動に活用。現在までに約160万円を寄付。アマミノクロウサギロードキル防止に役立てられています。



世界自然遺産登録地域“湯湾岳”の清流

2021年夏、世界自然遺産登録地域に指定された湯湾岳のピュアな伏流水を黒糖焼酎製造の仕込水に使用しています。台風や大雨の後には地域の人と協力して清掃を行うこともあります。



蔵祭り

警察・消防・地元の他企業などと連携し、地元の特産品の販売や地域住民の交流の場作りをしています。たくさんの方が集まりました。



創業者の想いが絵本に

創業者が奄美の子供たちの支援を目的に設立した「渡博文ゆめ基金」事業の一環で、奄美の伝統や文化を次世代に残していくための取組。絵本作家の永田萌氏が絵と文を担当。